

配当年次・単位・授業形態	2年次	開講期	後期	必修	2単位	講義
授業科目(英名)	精神看護学概論 (Introduction to Psychiatric Nursing)					
担当教員名	◎石川 幸代 [専任]					(◎は科目責任者)
<p>[授業の概要]</p> <p>精神看護を学修し、精神的に健康であることについて理解を深めるとともに、そのアセスメント能力の基礎を養うことを目的とします。また、精神的健康の保持増進から精神活動を障害された対象への援助に必要な理論と方法論を学びます。</p> <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神医学の知識を精神看護に活かすことができる。</li> <li>2. 広義の精神看護と狭義の精神看護の視点から精神看護とは何かを考えることができる。</li> <li>3. 心の機能や心の発達、メンタルヘルスに関連する看護を理解できる。</li> <li>4. 精神症状とセルフケアのアセスメントの視点が理解できる。</li> <li>5. 精神医療と精神科に関連する法律について理解できる。</li> </ol> <p>以上の5項目を目標とします。</p>						
回	授業計画	授業外学修(事前学習・事後学習)				担当者
1	主な精神障害の理解 1) 精神障害とは 2) 統合失調症	事前学習(90分):教科書の当該疾患までを精読する。脳の形態機能学で学んだことを自身が学習して復習する。脳の働きと精神症状を結びつける学習ができるように予習をする。 事後学習(90分):学習内容をまとめる。				精神科 医師
2	主な精神障害の理解 1) 双極性障害及び関連障害 2) 抑うつ症候群	事前学習(90分):教科書の当該疾患を精読する。 事後学習(90分):学習内容をまとめる。				精神科 医師
3	主な精神障害の理解 1) 不安症群/不安障害群 2) 強迫症/強迫性障害 3) 心的外傷およびストレス因関連障害群	事前学習(90分):教科書の当該疾患を精読する。 事後学習(90分):学習内容をまとめる。				精神科 医師
4	主な精神障害の理解 1) 依存症 2) パーソナリティ障害群	事前学習(90分):教科書の当該疾患を精読する。 事後学習(90分):学習内容をまとめる。				精神科 医師
5	心の健康とは 精神力動的な考え方について	事前学習(90分):精神保健で学んだことを復習し自分の考えをノートにまとめる。自身の心の健康について考える。 事後学習(90分):学習内容をまとめる。				石川
6	精神機能と健康障害	事前学習(90分):教科書の該当部分を精読し、ノートにまとめる。 事後学習(90分):学習内容をまとめる。				石川
7	ストレスとコーピング ・ストレスとその反応 ・ストレスと対処行動	事前学習(90分):教科書の該当部分を精読し、ノートにまとめる。 事後学習(90分):学習内容をまとめる。				石川
8	危機理論 ・危機理論とその活用の実践について	事前学習(90分):教科書の該当部分を精読し、ノートにまとめる。 事後学習(90分):学習内容をまとめる。				石川
9	ライフサイクルと心の健康(1)	事前学習(90分):教科書の該当部分を精読し、ノートにまとめる。 事後学習(90分):学習内容をまとめる。				石川
10	ライフサイクルと心の健康(2)	事前学習(90分):教科書の該当部分を精読し、ノートにまとめる。 事後学習(90分):学習内容をまとめる。				石川
11	精神科医療におけるチーム医療と看護の役割	事前学習(90分):教科書の該当部分を精読し、ノートにまとめる。 事後学習(90分):学習内容をまとめる。				石川
12	精神科医療におけるリスクマネジメント	事前学習(90分):教科書の該当部分を精読し、ノートにまとめる。 事後学習(90分):学習内容をまとめる。				石川
13	精神保健医療の歴史	事前学習(90分):教科書の該当部分を精読し、ノートにまとめる。 事後学習(90分):学習内容をまとめる。				石川

14	精神保健福祉の法制度 ・精神保健福祉法 ・その他関連する法律	事前学習（90分）：教科書の該当部分を精読し、ノートにまとめる。 事後学習（90分）：学習内容をまとめる。	石川
15	精神看護における倫理	事前学習（90分）：教科書の該当部分を精読し、ノートにまとめる。 事後学習（90分）：学習内容をまとめる。	石川
成績評価と基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験を実施します。授業の内容全般についての理解度を評価します。</li> <li>・学習意欲の把握を行うものとしてフィードバックシート10%、授業レポート20%、最終試験70%とします。</li> </ul>		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業では、予習、復習をして、自身の生活を振り返り、自己の課題を明確にできるように常に問題意識を持って参加することを期待しています。</li> <li>・ユニグループを使用し、出欠席管理を行います。</li> </ul>		
全学年を通しての関連科目	人間性心理学、精神保健、形態機能学Ⅰ、Ⅱの科目と関連し、精神看護の専門性の基盤になる、人間の理解につながるものです。		
[ディプロマポリシーとの関連]	本科目は、看護学部ディプロマポリシーの3,1,5と関連しています。		
教科書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 吉松和哉 小泉典章 川野雅資編：精神看護学Ⅰ精神保健学，ヌーヴェルヒロカワ</li> <li>2. 川野雅資監修：精神看護学Ⅱ精神臨床看護学，ヌーヴェルヒロカワ</li> </ol>		
参考書・参考資料	授業内で適宜、紹介または資料を配付します。		
オフィスアワー	石川幸代 水（13:00～14:00）		